

令和6年能登半島地震の復興イベント「星稜のと応援祭」

団体名●金沢星稜大学 学友会執行部主催／代表者名●高島 悠（進路支援課）

はじめに(背景・目的・目標)

2024年1月1日に発生した能登半島地震を受けて、金沢星稜大学・短大部では、第4次中期計画(2024-2028)に「能登半島の創造的復興とともにあゆみ、地域創生に貢献する全学的な取り組みを推進する。」という目標を加えました。

その取り組みの一環として、義援金受付・能登地区の企業招致・特産物の取り入れや被災者を優待する復興イベントを大学として実施。多くの人へ震災の実感を伝え、風化させないこと、そして活性化につながる笑顔の架け橋をここ星稜で構築することを目的として開催しました。

【飲食模擬店】

- 能登からのキッチンカー集結、能登名産の物販、出張輪島朝市など全15店舗の出店があった。
- 学生団体の模擬店からは6店舗の出店があった。

【企業からの出店】

- 自衛隊石川地方協力本部
展示コーナー、迷彩服試着、自衛隊バイク、高機動車試乗(約500名来場)
- 石井食品
非常食・常温食の試食、販売 → 300食完売
- 通傳接骨院(珠洲)稲友会会長の医院
ワンコインマッサージ(約15名来場)
- 日本赤十字社 献血ブース(6/8(土)のみ)
献血に来た人 47名
(献血できた人 32名／できなかった人 15名)

子供向け企画として、インカムでの通信体験、医療体験(約300名来場)

【各種イベント】

ステージ企画、芸人チャリティーライブ、学内キッズパーク、防災ブースなど

【能登出身者優待】

能登地区から数多くのキッチンカー出店
能登の特産品、名産品の販売、景品でも取り扱ったお笑い芸人ライブ→能登出身のご家族無料でご招待
学内キッズパーク、飲食一部優待

おわりに(成果)

6月8日(土)～9日(日)の2日間にわたって開催した「星稜のと応援祭」において、両日延べ約2,500人のご来場者の方々およびチャリティーイベント、模擬店の売り上げの一部などから寄せられた義援金(1,009,393円)を、日本赤十字社石川県支部に贈呈しました。



主催：金沢星稜大学・短大部 学友会執行部
協賛：大学同窓会、短大同窓会、大学・短大稲友会、大学学友会執行部、大学体育会、大学文化会、流星祭実行委員会、短大部学友会執行部、石川テレビ、日本赤十字社、各企業

